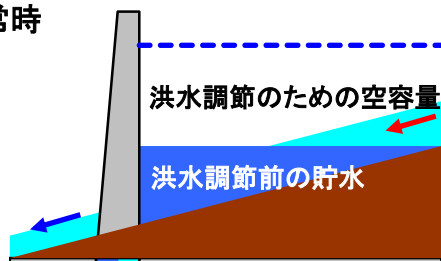


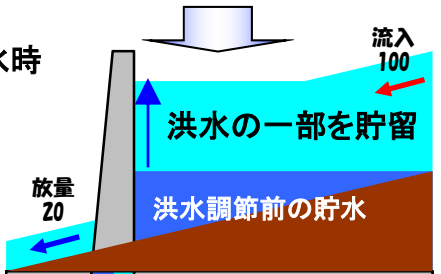
旭川ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

ダムの洪水調節機能(イメージ)

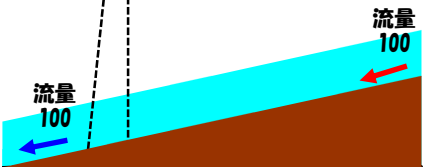
平常時



洪水時



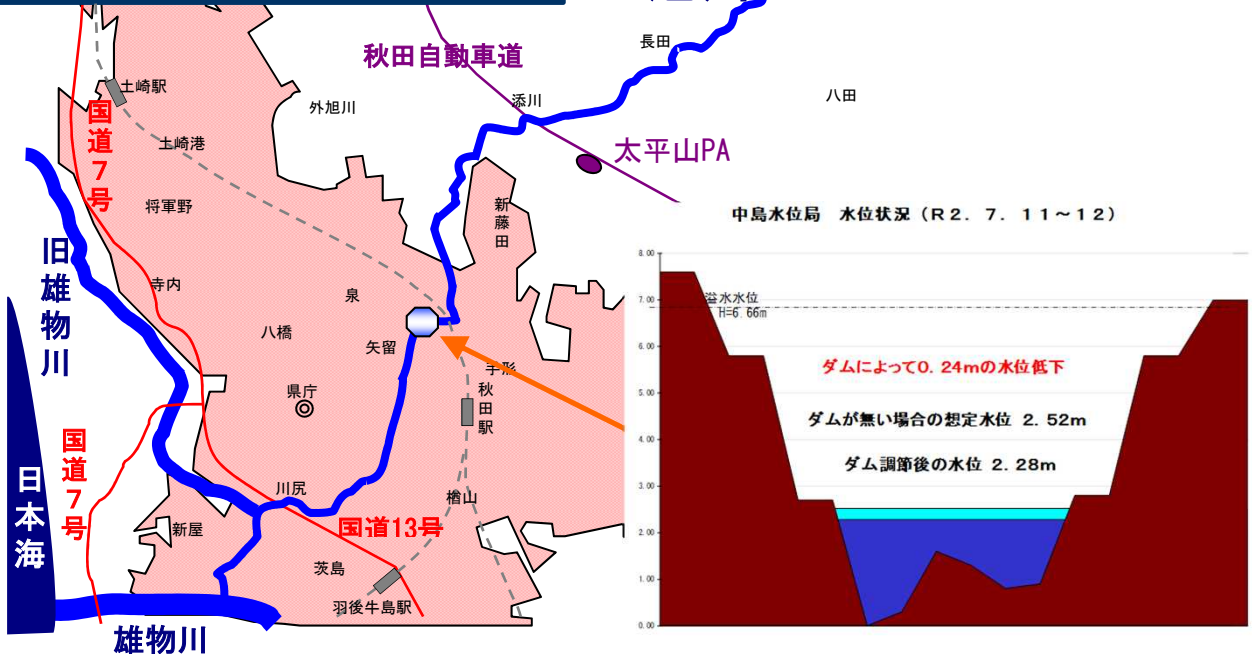
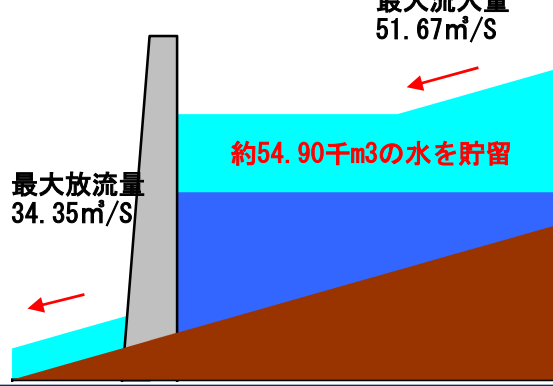
ダムがない場合



流れている100の水は、そのまま下流に流れていきます。

このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は1/5になり、洪水被害を軽減します。

旭川ダム 出水前・後の貯水状況



旭川ダムでは、7月11日～12日の「梅雨前線による出水」のため、洪水調節を行いました。約54.90千m³の洪水をダムに貯留し、ダム下流の旭川に流れる水量を少なくしました。

旭川ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

別紙

概況

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

旭川ダムでは7月11日～12日の「梅雨前線による出水」のため洪水調節を行いました。

降雨の状況は、流域平均の最大時間雨量19.0mm、累計雨量は43.7mmとなり、旭川ダムにおける最大流入量は51.67m³/sまで上昇しました。

洪水調節の結果、約54.90千m³の水をダムに貯留し、旭川の水位を24cm下げることができました。

降雨の状況(旭川ダム流域平均雨量)

